

## 令和 4 年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

## ■ 一般会計

## &lt; 決算規模 &gt;

- ・歳入総額 330億8,018万円【前年度：334億9,107万円（1.2%減）】
- ・歳出総額 311億1,602万円【前年度：308億0,975万円（1.0%増）】

## &lt; 収支状況 &gt;

- ・歳入歳出差引額 19億6,416万円【前年度：26億8,132万円】
- ・実質単年度収支額 △7億3,456万円【前年度：8億6,729万円】

## 一般会計決算の特徴

- 歳入は、前年度からの繰越金や財政調整基金などからの繰入金が増となったものの、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金などの国庫支出金や臨時財政対策債などの市債が減となったことなどにより、前年度比4億1,090万円の減となっています。
- 歳出は、子育て世帯への臨時特別給付金事業費の減などにより、民生費が減となったものの、公共施設安心安全化基金積立金の増などにより総務費が増となったほか、令和2年度に借入を行った臨時財政対策債や庁舎建設事業債などの元金償還開始により、公債費が増となったことなどにより、前年度比3億0,626万円の増となっています。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、前年度比で約16億円減の約7億3千万円のマイナスとなり、4年ぶりのマイナス収支となりました。なお、財政調整基金残高は、前年度から3億1,364万円減の28億4,706万円となっております。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は94.7%で、前年度（90.8%）より3.9ポイントの増となりました。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）において基準値を大きく下回っており、本市の財政状況が健全であることを示しています。
- 令和4年度末の市債残高は233億4,634万円で、前年度から21億7,053万円の増となりました。なお、市民1人当たりの市債残高は31万円となっています。

※表示単位未満を四捨五入しています。

（裏面へ続く）

## ■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	718,433	683,085	35,348
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	4,085	3,644	441
介護保険特別会計	533,542	505,641	27,901
後期高齢者医療特別会計	112,098	111,320	778

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

## ■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業会計	135,968	123,483	12,468	17	12,485
下水道事業会計	184,445	163,731	20,713	0	20,713

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

<p>記 者 発 表 資 料          令和5年8月29日          総務部財政課          財政グループ          担当者／主任 吉田 大志          電話番号／048-473-1115          志 木 市</p>
---